# 平成二十七年度　美夫君志会　全国大会　御案内

行事内容ご一覧の上、同封のはがきで（懇親会費は同封の郵便振替用紙にて）六月十三日㈯までに、お申し込み下さい。

## 一、招待研究発表会

六月二十七日㈯　午後一時三十分～午後五時十分
中京大学【センタービル六階　〇六〇三番教室】

開会の辞・学会挨拶　美夫君志会会長　佐藤　隆
挨　拶　中京大学学長　安村仁志
萬葉集巻十三、三二二三歌の解釈をめぐって　皇學館大学　大島信生
『万葉集』から平城宮を考える　奈良文化財研究所　渡辺晃宏
紀州本万葉集巻十の奥書　国文学研究資料館　田中大士

## 二、懇親会

六月二十七日㈯　午後六時～午後八時
名古屋観光ホテル十八階「伊吹の間」（名古屋市中区錦一―一九―三〇　電話（〇五一）二三一―七七一一）（地下鉄「伏見」⑨番出口）
会費：七〇〇〇円前納

## 三、研究発表会

六月二十八日㈰　午前十時～午後四時三十分
中京大学【センタービル六階　〇六〇三番教室】

### ［午前の部］

譬喩歌と相聞歌の表現
―名詞の分布を通じて―　大阪府立大学（大学院院生）　仲谷健太郎

近江荒都歌論
―「日知」をめぐって―　大阪府教育センター附属高等学校　内田夫美

### ［午後の部］

こころを解く歌
―『万葉集』巻十六・三八〇七番歌と左注の検討―　慶應義塾大学（大学院院生）　佐藤陽

萬葉集仮名主体表記歌巻における単音節訓字
―巻十七を中心に―　奈良女子大学　尾山慎

万葉集巻二挽歌冒頭歌群についての考察　旭川工業高等専門学校　倉持しのぶ

巻三の構想　梅花女子大学　市瀬雅之

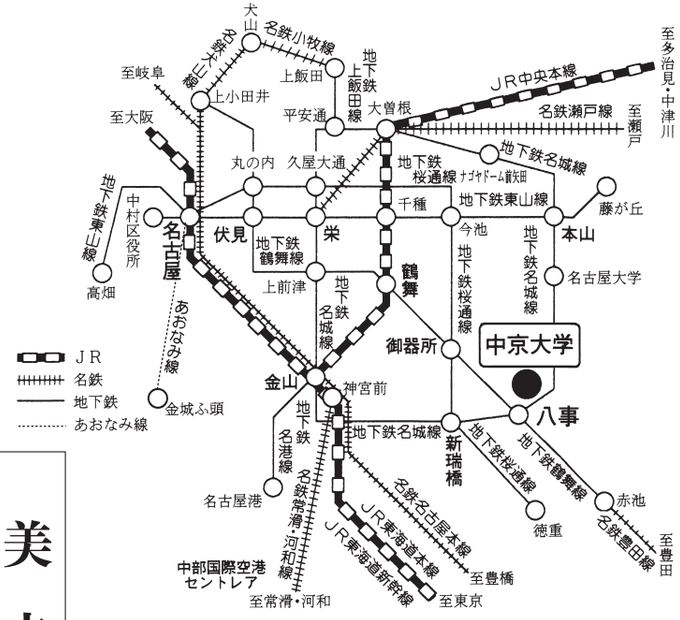
閉会の辞　大会担当理事　竹尾利夫

―――。―――。―――。―――。―――。―――。―――。―――

※発表資料を『資料集』として冊子に致します。
当日受付にて、お求めの上《定価千円》、ご利用下さい。

※出張懇請書入用の方は、八十二円切手同封の上、美夫君志会宛に。

**※中京大学（会場）の所在**
（地下鉄「八事」⑤番出口直結）




**JR利用**（地下鉄乗換）

・名古屋（東海道本線岡崎・豊橋行）4分→金山
・名古屋（中央本線多治見・中津川行）6分→鶴舞

**地下鉄利用**（飛行機で来名の方は中部国際空港（セントレア）から名鉄で金山）

・金山（名城線左回り）16分→八事
・鶴舞（鶴舞線赤池行・名鉄豊田行）10分→八事
・名古屋（東山線藤が丘行）2分→伏見（鶴舞線赤池行・名鉄豊田行）15分→八事
・名古屋（東山線藤が丘行）4分→栄（名城線左回り）23分→八事
・名古屋（東山線藤が丘行）14分→本山（名城線右回り）5分→八事
・名古屋（桜通線徳重行）14分→御器所（鶴舞線赤池行・名鉄豊田行）6分→八事
・名古屋（桜通線徳重行）20分→新瑞橋（名城線左回り）6分→八事


美夫君志会
〒466-8666
名古屋市昭和区八事本町一〇一―二
中京大学文学部日本文学研究室内
振替口座　〇〇八二〇―六―五四三七六
TEL（〇五一）八三五―七一一一